

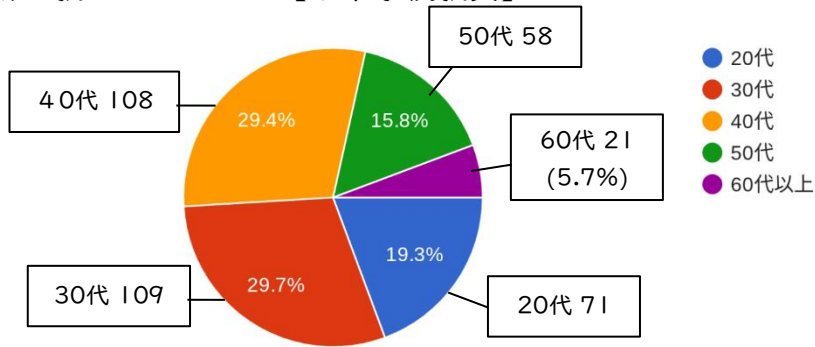
結果分析

教員編

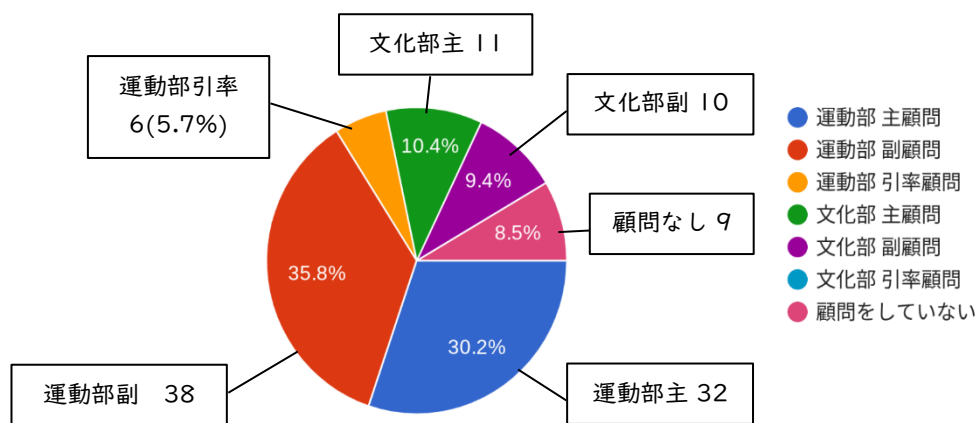
【教職員用】部活動地域展開に向けたアンケート結果

全体367件 小学校261件 中学校106件

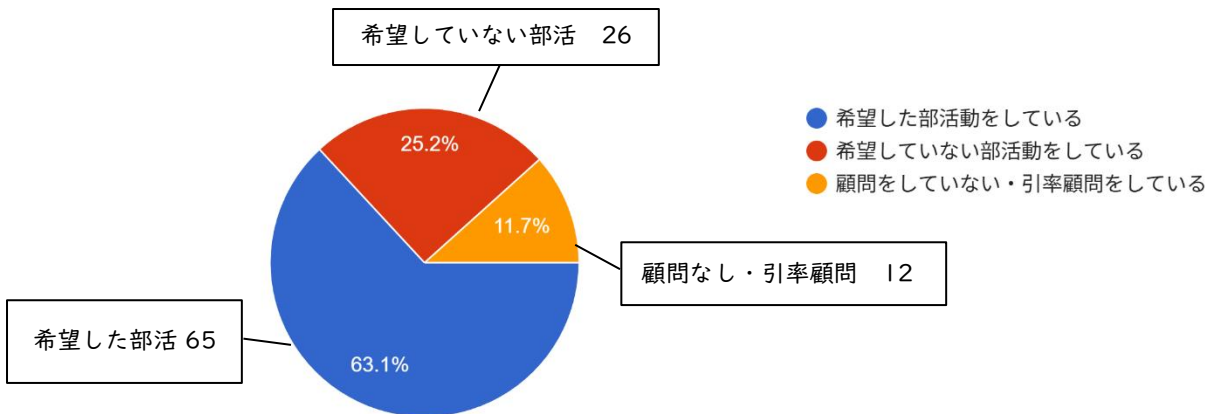
1 年齢を教えてください【小中学校教員】



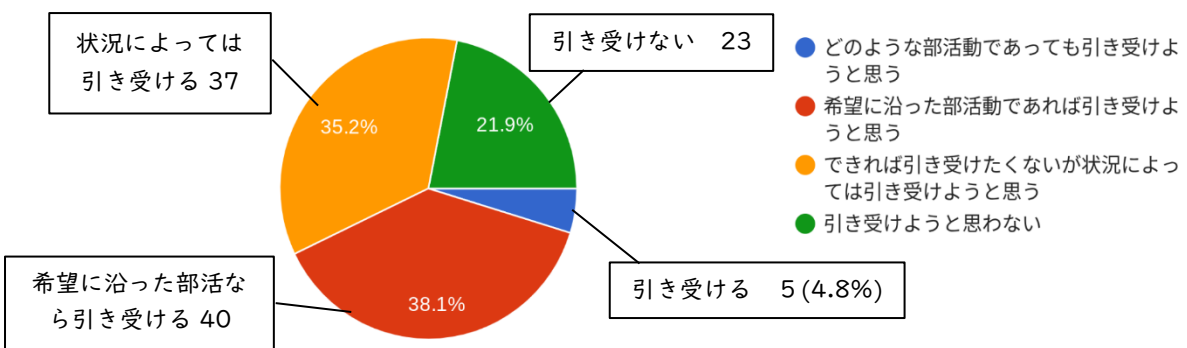
2 現在部活動の顧問をしていますか【中学校教員】



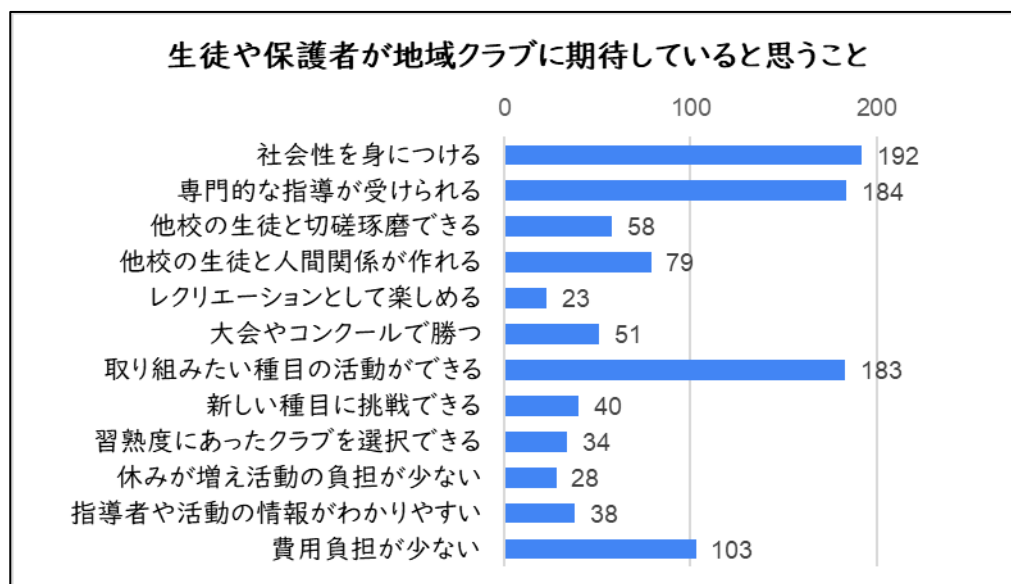
3 希望に沿った部活動の顧問をしていますか【中学校教員】



4 現状の部活動制度が続いた場合、顧問を引き受けようと思いますか【中学校教員】



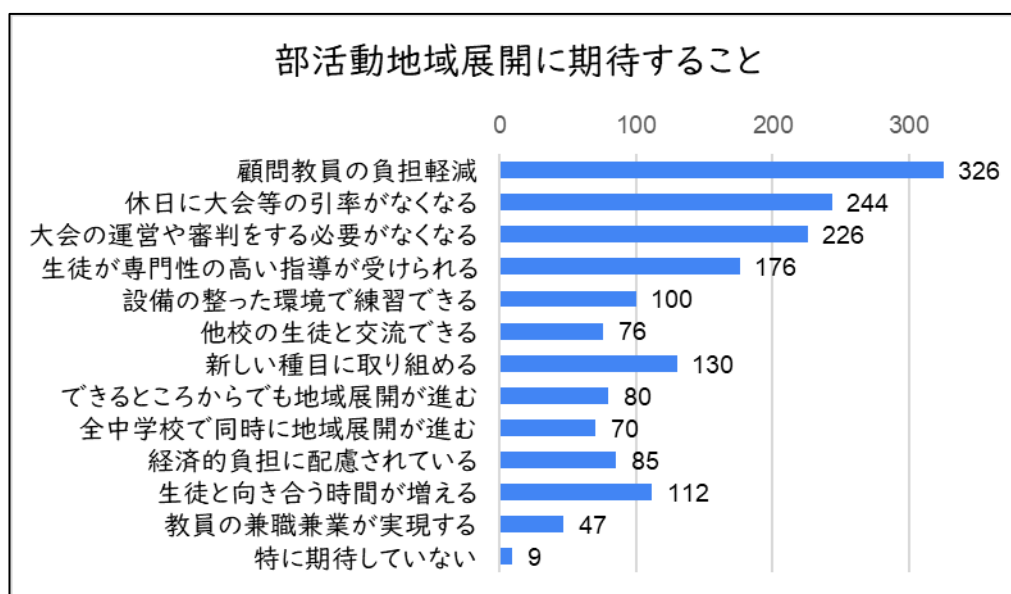
- 5 放課後にスポーツ・文化活動に取り組む上で、また、地域と連携した環境整備を進める上で、児童・生徒や保護者がどんなことを期待していると思いますか【小中学校教員】【3つまで回答可】



分析

- 「社会性を身につける」「専門的な指導を受けられる」「取り組みたい種目の活動ができる」について、保護者と同様の結果となった。

- 6 部活動の地域展開について、教職員として期待する項目をすべて選んでください。【小中学校教員】【複数回答】

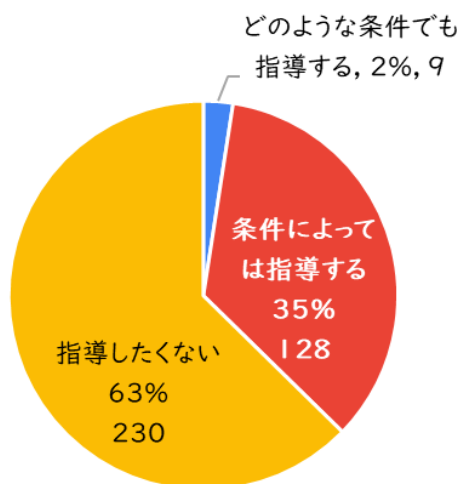


分析

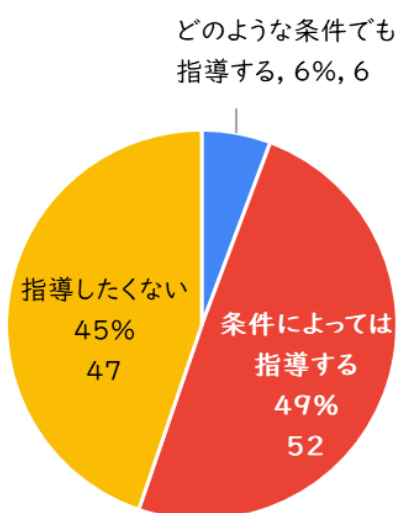
- 部活動の地域展開に期待することが「学校の顧問教員の負担軽減につながる」「休日に大会や練習試合等の引率がなくなる」「教員が大会等の運営や審判を担当する必要がなくなる」の順となっていることから、多くの職員が負担軽減を望み、部活動地域展開に期待していることが伺える。

7 休日の地域クラブ活動で兼職兼業の形で指導することについて、どう考えますか。
【小中学校教員】

【小中学校教員】休日の地域クラブ活動で兼職兼業で指導することの考え



【中学校教員のみ抽出】休日の地域クラブ活動で兼職兼業で指導することの考え



分析

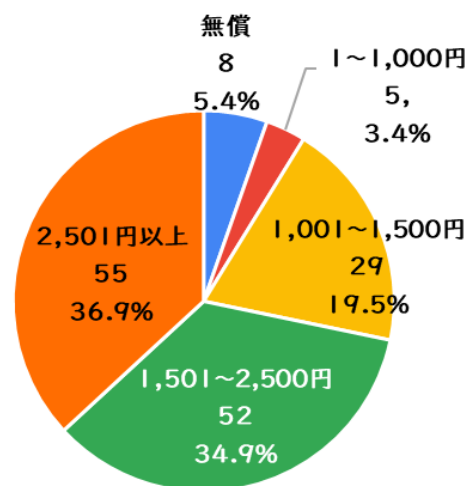
- 小中学校教員全体で見ると、60%以上の教員が指導はしたくないと考えていることから、部活動地域展開に向けて、地域での受け皿や外部指導者の確保が重要である。
- 中学校教員だけで見ると、条件によっては引き受けてもよいと考える割合が半数を占めているため、今後の体制整備でどこまで条件を整えられるかが指導者確保のカギとなる。

8 兼職兼業で指導する場合、1時間あたりの希望報酬額をお答えください。【小中学校教員】

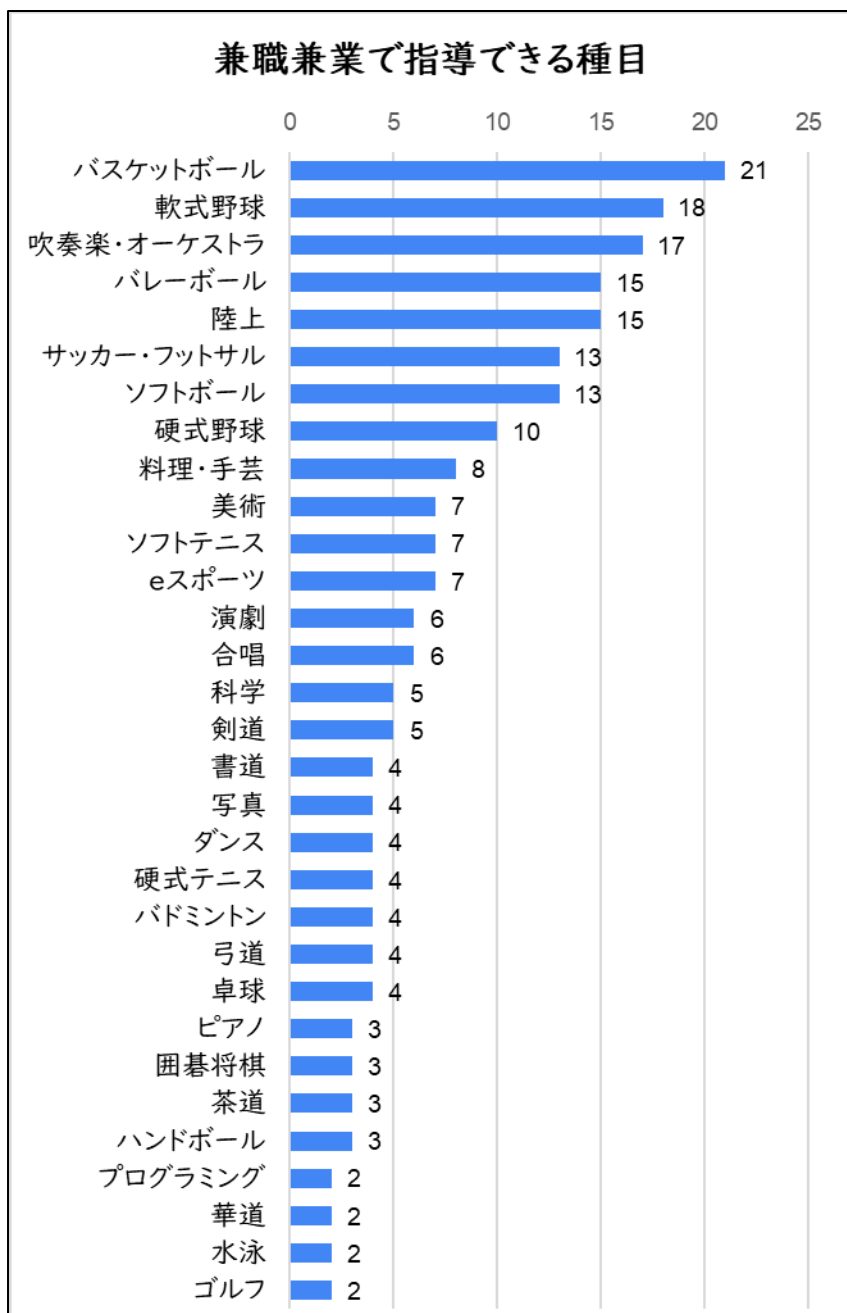
分析

- 高額な報酬を望む職員が多いことから、教員は、それだけ、休日の部活動指導に強い負担感を抱いていることが伺える。

1時間当たりの希望報酬額



9 兼職兼業で指導する場合、どの種目を指導していただけますか。【小中学校教員】
【複数回答可】



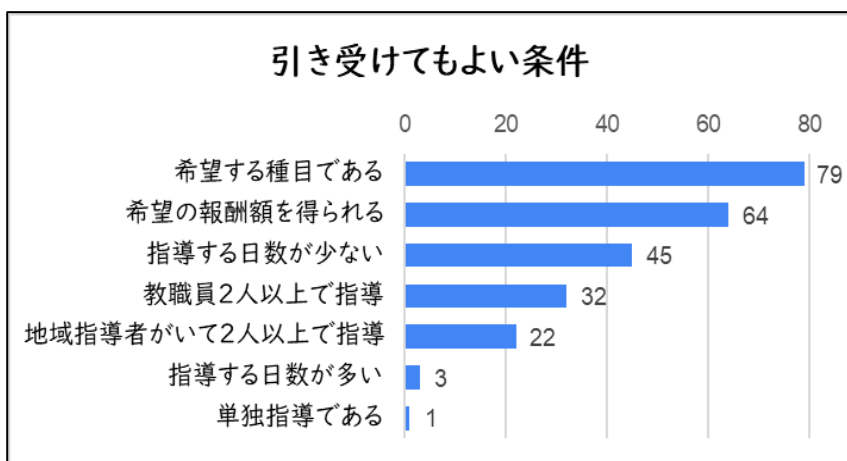
[回答数1のもの]

英会話・英語
そろばん
柔道
サーフィン
競技かるた
ボクシング
声楽・オペラ
ミュージカル
フィッシング
模型

分析

- 種目によっては指導者が複数人いることから指導者確保が期待できる。(ただし、報酬など希望者の条件を満たしていることが前提となる)
- 学校部活動にない種目でも、指導可能な人材がいることがわかる。

10 「これなら引き受けてもいいな」と思えるものを2つお答えください。【小中学校教員】



分析

- 引き受ける条件として「希望する種目」「希望の報酬額」2つが大部分を占めている。
- その他、運営方針や指導方針が合うかといった意見もみられた。